

令和 6 年度 特別の教育課程の実施状況及び評価等について

守谷市立高野小学校

1 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程を編成・実施する学校

守谷市立高野小学校

(2) 特別の教育課程の概要

守谷市保幼小中高一貫教育のスローガン「世界に輝く人づくり」を目指し、急速に進展するグローバル化に対応することができる人材を育成するため、小学校 1 年生～2 年生において、生活科の 35 時間分（1 年生は 34 時間分）を設定する。「英語活動」においては、守谷市独自に配置している外国語指導助手（ALT）との交流の機会を多く設け、体験的な活動をとおして外国語や異文化を理解し、自他の文化や価値を尊重することができるグローバルな視野や態度の素地を育む学習を行う。

(3) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する

必要性

守谷市では、保幼小中高一貫教育「きらめきプロジェクト」を推進し、就学前の保育所等でも、英語を用いた遊びなどを積極的に取り入れたり、外国人講師との英語での交流機会を設けたりしている。この保幼小中高一貫教育としての継続性から、就学前の学びを小学校入学後においても継続する必要性がある。

また、外国語教育に関する意識調査からも、外国語に係る学習への興味・関心が高い児童の割合が高く（83%）、将来は国際社会で活躍することを希望する児童生徒も多い。保護者からも本市の外国語教育に係る取組に対して高い支持を得ており、特別の教育課程を編成する必要がある。

(4) 特例の適用開始日

平成 23 年 4 月

平成 30 年 4 月 変更

平成 31 年 4 月 変更

令和 2 年 4 月 変更

令和 6 年 4 月 継続

(5) 取組の期間

令和 8 年 3 月 31 日まで

2 特別の教育課程の編成・実施計画に基づく実施状況

- 計画通り実施できている
 - ・一部、計画通り実施できていない
 - ・ほとんど計画通り実施できていない

3 特別の教育課程に基づく教育の実施状況に関する自己評価結果

(1) 第1学年児童による評価

- ① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	52.0
楽しい	40.0
あまり楽しくない	8.0
楽しくない	0

- ② ALT の先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	52.0
楽しい	32.0
あまり楽しくない	16.0
楽しくない	0

- ③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	60.0
話せるようになりたい	32.0
あまり話せるようになりたくない	8.0
話せるようになりたくない	0

- ④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	60.0
知りたい	28.0
あまり知りたくない	12.0
知りたくない	0

(2) 第2学年児童による評価

① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	63.3
楽しい	30.0
あまり楽しくない	6.7
楽しくない	0

② ALT の先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	66.7
楽しい	30.0
あまり楽しくない	3.3
楽しくない	0

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	60.0
話せるようになりたい	36.7
あまり話せるようになりたくない	3.3
話せるようになりたくない	0

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	56.7
知りたい	30.0
あまり知りたくない	13.3
知りたくない	0

(3) 保護者による評価

① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	83.3
よい	16.7
あまりよくない	0
よくない	0

② お子様は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	37.5
楽しみにしている	41.6
あまり楽しみにしていない	16.6
楽しみにしていない	4.3

③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、お子様が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	16.6
増えていると思う	58.4
あまり増えていると思わない	25.0
思わない	0

④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、お子様に力が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。(複数回答可)

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	33.3
(英語を) 聞く力	62.5
(英語を) 話す力	29.2
(英語を) 読む力	0
(英語を) 書く力	0.4
力が身に付いていると思わない	0

⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。ご意見等があれば、お聞かせください。

- ・より専門性の高い教員の授業を、受ける機会を確保したい。
- ・外国語活動の時間の確保のために、他教科の時数や内容をカリキュラムマネジメントしているが、全てのねらいを達成させるためのマネジメントが困難な点是否めない。効果的なマネジメントについてご指導いただきたい。

(4) 学校関係者（教職員）による評価

- ① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	83.3
よい	16.7
あまりよくない	0
よくない	0

- ② 児童は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	66.7
楽しみにしている	33.3
あまり楽しみにしていない	0
楽しみにしていない	0

- ③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、児童が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	33.3
増えていると思う	66.7
あまり増えていると思わない	0
思わない	0

- ④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、児童が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。（複数回答可）

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	66.7
（英語を）聞く力	83.3
（英語を）話す力	16.7
（英語を）読む力	50.0
（英語を）書く力	0
力が身に付いていると思わない	0

- ⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。

- ・英語専科の先生の授業を、毎回ではないにしろ受けさせてみたい。
- ・外国語活動を週1回とすることで、生活科の時間が週3時間から、2時間に減らされている。生活科の時間も確保したい。
(他教科の時間を圧迫しないで外国語教育に取り組みたい)

4 実施の成果と今後の課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により目指す学校の教育目標達成の成果

昨年度は英検 EGS の結果から、リーディング（読むこと）が前年度より平均 3.1 ポイント下がっており、この結果から「読むこと」に課題があることが分かった。そこで今年度は「登場人物の心情を考えながら読み深める授業づくり」を目標に取り組んできた。歌やチャンツで英語に親しみ、意欲を高め、スモールトークを積極的に取り入れた。特に、教科書の登場人物の掛け合いに注目し、それぞれの表情や声のトーンを想像しながらリーディングを行ったことで、教師の後追いではなく、より状況や心情を理解した自然な形で英文を反復して朗読することができた。児童間のスモールトークでも自信を持って交流することをできるようにした。それらの結果として今年度の英検 EGS では、リーディング（読むこと）が前年度より平均 10.0 ポイント向上した。また、英文を読んだりコミュニケーションの機会が増えたりしたことで、リスニング（聞くこと）も前年度より平均 10.0 ポイント向上した。

1・2 年生では、主にゲームを中心に楽しみながら授業に取り組み、ダンスや歌を通して、自然に英単語を覚えることができた。また、授業終わりに振り返りゲームを行い、覚えた英単語を積極的に活用する場を設けることができた。2 年生のアンケート結果を見ると、昨年度（1 年生時）は英語活動が楽しくないと答えた児童がいたが、今年度は 0 % となった。児童の英語を楽しく学ぼうとする姿勢が培われていると考える。

(2) 教育課程全体としてバランスのとれた教育活動が実施され、学校教育法に示す学校教育の目標達成の成果

昨年度に引き続き、学校全体で毎週火曜日に English Day を設定している。朝の会の進行や授業の号令を英語で行ったり、ALT と共に清掃活動等の授業以外でのコミュニケーションを積極的に行ったりしている。授業外での ALT との交流を増やしたことで児童が思う外国語を話す事へのハードルを下げることに成功している。具体的には、ALT との給食の会食の場面である。進んで ALT に質問する児童が増えた。授業で覚えた英単語を活用してコミュニケーションを取ろうとする態度に、ALT から児童に対して前向きな言葉や励ましがあり、それを聞いた児童も更に英語を活用しようとする気持ちが高まっていた。

(3) 今後の課題

5・6 年生で行うパフォーマンステストの素地として、低学年ではゲームや歌、ダンス等のアクティビティを多く取り入れ、「楽しみながら英語に親しむ児童」を増やしたい。また、中高学年ではコミュニケーションやプレゼンテーションの場面を計画的に取り入れ、「自信をもって英語を活用できる」児童を増やす。

5 授業の様子



歌とダンスで基本的な英単語の習熟を図る。
(2 年生)



授業の終盤にゲームを通して、授業内容の振り返りと習熟を図る。
(3 年生)